

地域出前授業

びわ学ユーカレッジ 2023

びわ学ユーカレッジとは？

びわこ学院大学が実施する「地域出前講座」のことです。

自治会の防災研修や老人クラブの教養・健康活動、PTAの子育て研修会等にご活用下さい。ユーカレッジには、「Youのための学び」、「遊び感覚で楽しく学ぶ」などの意味が込められています。



ユーカレッジ 2022 「運動不足解消でストレス解消」

於：市辺コミュニティセンター

びわこ学院大学／びわこ学院大学短期大学部 2023ユ－カレッジ（地域出前授業）科目一覧

A／教育・子育て
F／情報技術・科学

B／スポーツ
G／健康・ライフスタイル

C／人権・福祉
H／環境・防災

D／芸術・音楽
I／その他

E／文化・歴史

| NO | 分野 | タイトル | 講師役職 | 講師氏名 |
|----|-----|--|------|-------------|
| 1 | A | 子どもたちの命を守るために（事故予防と緊急時の対応（熱中症、食物アレルギー、心停止）） | 教授 | 岩崎 信子 |
| 2 | A | 親子運動遊び（子どものからだところへ“つながる遊び”） | 教授 | 奥田 愛子 |
| 3 | A | 子どものメンタルケア | 教授 | 奥田 愛子 |
| 4 | A | 子どもの大好きなおもちゃを作しましょう！ | 講師 | 杉本 栄子 |
| 5 | A | 世界にたった一つの私の絵手紙を描きましょう！ | 講師 | 杉本 栄子 |
| 6 | A | 遊びが学びへとつながる保育の質（ワクワク・ドキドキ遊び体験） | 教授 | 中井 清津子 |
| 7 | A | 対人関係を学ぶ（エンカウンターで自己や他者の理解を広げよう！） | 教授 | 南 雅則 |
| 8 | A | 事例検討をみんなで楽しく！（PCAGIP法を使った事例検討の体験） | 教授 | 南 雅則 |
| 9 | A | 子どもの自信を育てる | 教授 | 箱家 勝規 |
| 10 | A | 古代の大学は滋賀県に置かれていた（渡来人と教育・学問について） | 教授 | 光川 康雄 |
| 11 | A | 映画で考える子ども学・教育学 | 准教授 | 渡辺 雅幸 |
| 12 | A | 「インクルーシブ教育」ってなに？ | 助教 | 久保田 裕斗 |
| 13 | A | 「男の子らしさ」「女の子らしさ」を子どもたちはいつから知って、何から学ぶ？ | 講師 | 残華 雅子 |
| 14 | AC | 利用者支援事業とは何か（ソーシャルワークの理論的枠組みを用いて） | 講師 | 榎本 祐子 |
| 15 | AC | 乳幼児の親（保護者）との援助関係の築き方（「やってあげたい援助」ではなく「求められる援助」ができるようになるために） | 講師 | 榎本 祐子 |
| 16 | AG | アンコンシャスバイアスについて考えてみよう | 講師 | 残華 雅子 |
| 17 | ADG | 乳幼児のための音楽遊び | 講師 | 竹下 則子 |
| 18 | ADG | みんなで歌おう！心のうた | 講師 | 竹下 則子 |
| 19 | AE | 五個荘発、寺子屋と往来物のおもしろさ（東近江市近江商人博物館所蔵、時習斎蔵書を手がかりに） | 准教授 | 和田 充弘 |
| 20 | AE | 五個荘発、寺子屋と往来物のおどろき（東近江市近江商人博物館所蔵、時習斎蔵書を手がかりに） | 准教授 | 和田 充弘 |
| 21 | AF | だれもが夢中になれる大人の科学実験 | 教授 | 箱家 勝規 |
| 22 | B | 地域で考える子どもたちのスポーツ環境（運動部活動の地域移行について） | 講師 | 祐末 ひとみ |
| 23 | B | スポーツで地域活性化（誰もが健康で住みよい地域に必要な場所づくり） | 講師 | 祐末 ひとみ |
| 24 | B | みんなでバスケットボール（元プロバスケット選手がバスケットを指導する） | 助教 | 小野寺 恵介 |
| 25 | B | 初心者を対象にした空手教室 | 准教授 | 深田 直宏 |
| 26 | B | 運動が苦手な小学生の運動教室 | 准教授 | 深田 直宏 |
| 27 | B | スポーツ・パフォーマンスの向上に役立つストレッチ | 教授 | 吉見 譲 |
| 28 | B | なぜスポーツ・運動が子どもの成長に欠かせないのか（～スポーツ科学の知見から～） | 教授 | 吉見 譲 |
| 29 | BG | いきいき健康運動（軽運動で心と体をリフレッシュ） | 講師 | 竹内 早耶香 |
| 30 | BG | 運動とメンタルヘルス（ストレスマネジメントにつなげるには？） | 講師 | 竹内 早耶香 |
| 31 | BG | スポーツ科学の視点から考える健康づくり（研究データからコツを読み解く） | 講師 | 高木 俊 |
| 32 | BFG | 大人のためのスポーツ生理学入門（測定体験から人体を学ぶ） | 講師 | 高木 俊 |
| 33 | C | コミュニケーションゲームを通じて対人援助のセンスを学ぶ | 教授 | 片山 弘紀 |
| 34 | C | コミュニケーションゲーム | 教授 | 片山 弘紀 |
| 35 | C | 知的障害や発達障害のある人への読書支援 | 教授 | 藤澤 和子 |
| 36 | C | わかりやすい情報提供（リライトや読み聞かせの実習を通して） | 教授 | 藤澤 和子 |
| 37 | C | 認知症ケア 若年性認知症の早期発見（太田正博さんの10年～そして人生は続く～） | 准教授 | 山 和美 |
| 38 | C | 介護福祉士の専門性について（介護福祉職のコミュニケーションとは） | 講師 | 山ノ井 勉 |
| 39 | C | 介護過程におけるアセスメント（介護過程の基本的な考え方やアセスメントのポイントについて） | 講師 | 山ノ井 勉 |
| 40 | C | 介護技術の基礎（負担の少ない移乗・移動方法） | 講師 | 吉原 真紀 |
| 41 | C | 介護技術の基礎（ベッド上でのシーツ交換・寝衣交換） | 講師 | 吉原 真紀 |
| 42 | CH | 障害のある人たちの3.11（「命のことづけ」～死亡率2倍、障害のある人たちの3.11～） | 准教授 | 山 和美 |
| 43 | D | 体を使って楽しく歌おう!!（腹式呼吸って何？） | 講師 | 林 育子 |
| 44 | D | もっと上手に歌ってみたい（歌っていいんだよ、もっと発散しよう!!） | 講師 | 林 育子 |
| 45 | D | ここにしか咲かない花（水彩絵の具や色紙を使って不思議な花を咲かせましょう） | 講師 | 和田 健一 |
| 46 | D | <紙工作> 楽しい螺旋（らせん）ロード | 講師 | 和田 健一 |
| 47 | E | 和歌でつながる（一本居宣長を事例として） | 教授 | 榎本 恵理 |
| 48 | E | 日本の都城の歴史（近江大津宮と紫香楽宮の再評価） | 教授 | 丸山 俊明 |
| 49 | EH | 近江の街道宿場と町家の特徴（京町家を上回る防火性能の形成） | 教授 | 丸山 俊明 |
| 50 | F | 簡単なお知らせ文をパソコンで作ろう！ | 教授 | 長嶺 共全 |
| 51 | G | 「健康至上主義社会」のなかで病や障害と共に在ること | 助教 | 久保田 裕斗 |
| 52 | G | 簡単ストレッチと自体重のトレーニング（運動不足解消でストレス解消！） | 助教 | 小野寺 恵介 |
| 53 | G | 骨盤底筋体操で体の内から美人を目指しましょう（骨盤底筋強化と尿もれ予防） | 教授 | 内藤 紀代子 |
| 54 | G | ブレコンセプションケアって何だろう？（カラダと心の健康とライフプランニングについて） | 教授 | 内藤 紀代子 |
| 55 | G | 高齢者に多い病気とその対策（まだまだこれから！） | 教授 | 新屋 久幸 |
| 56 | G | メンタル不調への対応（こころの病気への気づきと対応） | 教授 | 新屋 久幸 |
| 57 | H | 地域における自然災害への取り組み（いまの備えは、それで十分ですか？） | 教授 | 鳥野 猛 |
| 58 | I | 国際比較から考える教育政策（～初等中等教育を中心とした近年の動向～） | 准教授 | 白銀 研五 |
| 59 | I | クレームや苦情への対応（カスタマー・ハラスメントを含め） | 教授 | 鳥野 猛 |
| 60 | I | 絵本の世界を楽しもう（絵本から見える子どもの世界） | 講師 | 川副 知佐 |
| 61 | I | 絵本から読み解く異文化理解 | 准教授 | 白銀 研五 |
| 62 | I | グローバル化の中の異文化理解 | 教授 | 逢 軍(フナジ ユン) |
| 63 | I | 近江鉄道の活用による地域活性化 | 教授 | 逢 軍(フナジ ユン) |
| 64 | I | 近江における「聖徳太子」信仰（『聖徳太子伝暦』を中心に） | 教授 | 光川 康雄 |
| 65 | I | 教職入門の入門 | 准教授 | 渡辺 雅幸 |

2023年度 びわ学ユースカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | タイトル | 子どもたちの命を守るために ～事故予防と緊急時の対応(熱中症、食物アレルギー、心停止)～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
|------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| | | | A | 体験型 | 10人程度 | × |
| No.1 | 授業内容 | 事故予防について理解し、応急手当について実際に体験してみましょう。 * 応急手当の体験は、学生が補助します。 | | | | |
| | 備考 | DVD又はYouTubeが見られることと、体験ができるような場所を希望します。 | | | | |

| | タイトル | 親子運動遊び ～子どものからだところへ“つながる遊び”～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
|------|------|--|----|-----|--------------|-------------|
| | | | A | 体験型 | 40人 (20組) | × |
| No.2 | 授業内容 | スキンシップをとまなう親子運動遊びを実施します。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:ピンマイク・スピーカー・示範用人形(1) 親子で参加してください。遊戯室を使用します。 | | | | |

| | タイトル | 子どものメンタルケア | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
|------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| | | | A | 講義型 | 40人 | ○ |
| No.3 | 授業内容 | アスリートが振り返る幼児期・児童期の特徴的な歩みの紹介と解説を通して、こころの発達につながる身体活動について考えます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:マイク・スクリーン(白布・白紙も可) PCとプロジェクターは持参します。 | | | | |

| | タイトル | 子どもの大好きなおもちゃを作っちゃおう！ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
|------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| | | | A | 体験型 | 20人 | × |
| No.4 | 授業内容 | 動物折り紙・紙皿を使って、皿回しと昔話制作・ストローを使ってトンボ制作・良く飛ぶ紙飛行機制作等、完成後は子どもの気持ちになって楽しく遊びましょう。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:全てこちらで用意します。使用備品:黒板 造形室が有難いです。 | | | | |

| | タイトル | 世界にたった一つの私の絵手紙を描きましょう！ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
|------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| | | | A | 体験型 | 20人 | × |
| No.5 | 授業内容 | “絵手紙三つの心得”を学んだあと、和紙の葉書に、野菜や花、来年の干支等描きます。 ゆったりとした時間の中で、筆の使い方から一緒に学び楽しいひと時を過ごしましょう。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:全てこちらで用意します。 使用備品:黒板 造形室が有難いです。 | | | | |

2023年度 びわ学ユカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.6 | タイトル | 遊びが学びへとつながる保育 ～ワクワク・ドキドキ遊び体験～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | その他 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 幼児の遊びは学びであることから、学びの質を考えます。 さらには、日常的な遊びの中で培われる学びを意識した環境や教材研究を考えます。 | | | | |
| | 備考 | 必要に応じて材料を各自持参してください。 | | | | |
| No.7 | タイトル | 対人関係を学ぶ ～エンカウンターで自己や他者の理解を広げよう！～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 4人以上 | × |
| | 授業内容 | 構成的グループエンカウンターのエクササイズをととして人間関係作りの具体的なスキルを学びま す。 | | | | |
| | 備考 | 広めの会場をお願いします。 | | | | |
| No.8 | タイトル | 事例検討をみんなで楽しく！ ～PCAGIP法を使った事例検討の体験～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 8人程度 | × |
| | 授業内容 | 教育現場でよく行われる事例検討を、提案者だけでなく参加者を含めた全員が主体者となって取り組 みます。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品：ホワイトボード又は黒板 教育関係者の方を対象にしています。 | | | | |
| No.9 | タイトル | 子どもの自信を育てる | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 保護者や地域教育関係者を対象に、子どもとの関わり方、自信の持てる子どもへの声かけなどに ついて、事例を交えながらわかりやすく講演します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.10 | タイトル | 古代の大学は滋賀県に置かれていた ～渡来人と教育・学問について～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 天智天皇の時、百済から亡命してきた鬼室集斯(きしつしゅうし)を「学職頭(ふんやのつかさ)」 として、近江大津宮(大津京)に「庠序(しょうじょ)」を置いたことが『懷風藻』(751年成立)の 序文に記されています。 さらに中世の大学は比叡山延暦寺です。滋賀県の学校について考えてみませんか。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

2023年度 びわ学ユカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.11 | タイトル | 映画で考える子ども学・教育学 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 映画に描かれる子どもの姿を通じて、子どもとは何か、教育とは何かについてみなさんと一緒に考えます。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.12 | タイトル | 「インクルーシブ教育」ってなに？ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 「インクルーシブ教育」という言葉を聞いたことはありますか。だれも排除しない＝インクルーシブな教育を実現するために押さえておくべきポイントを、分かりやすく解説します。 | | | | |
| | 備考 | スクリーン | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|------------|-------------|
| No.13 | タイトル | 「男の子らしさ」「女の子らしさ」を子どもたちは いつから知って、何から学ぶ？ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 10～20 人 | ○ |
| | 授業内容 | 子どもたちはいつから、何を通して「男の子らしい」「女の子らしい」という「らしさ」を学ぶのでしょうか。保育や教育場面での、性ステレオタイプの存在を知り、多様性理解について考えてみましょう。 | | | | |
| | 備考 | PC、スクリーン | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.14 | タイトル | 利用者支援事業とは何か ～ソーシャルワークの理論的枠組みを用いて～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AC | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 本授業では、地域子ども・子育て支援事業の1つである「利用者支援事業」とは何か、どのようなサービスを目指した事業なのかについて解説します。子育て家庭を対象とした「相談」は利用者支援事業以外にもさまざまなものがあります。そのような中「なぜ利用者支援事業が必要なのか」、「他の専門職による「相談」とは何が違うのか」、「どうこの事業を展開していくべきなのか」について、ソーシャルワークの理論的枠組みを用いて解説します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.15 | タイトル | 乳幼児の親(保護者)との援助関係の築き方 ～「やってあげたい援助」ではなく「求められる援助」ができるようになるために～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AC | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 本授業では、乳幼児の親(保護者)が本当に求めているような支援ができるようになるために、援助関係の築き方について学びます。具体的には、ソーシャルワークの援助関係構築の基本であるバイスティックの7原則について学びます。また、子育ての方法や考え方は時代によって大きく変化しています。今時の親が求めていること、今時の親を支援するときに気を付けてほしいポイントについても解説します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

2023年度 びわ学ユースカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|------------|-------------|
| No.16 | タイトル | アンコンシャスバイアスについて考えてみよう | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AG | 講義型 | 10～30 人 | ○ |
| | 授業内容 | 「単身赴任している」と聞いたら男性を思い浮かべませんか？持っていないつもりで実は持っている自分の中の無意識的な偏見に気づき、考えてみましょう。 | | | | |
| | 備考 | PC、スクリーン | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|--------------------------------|-----|-----|----------|-------------|
| No.17 | タイトル | 乳幼児のための音楽遊び | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | ADG | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | リズム遊びや手遊び、音楽遊びなど親子で音楽を楽しみましょう。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|-----|-----|----------|-------------|
| No.18 | タイトル | みんなで歌おう！心のうた | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | ADG | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 音楽には心を癒し潤す力があります。呼吸法、発声法から学ぶことができます。皆さんからのリクエストに応じてピアノ伴奏にあわせて合唱します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.19 | タイトル | 五個荘発、寺子屋と往来物のおもしろさ ～東近江市近江商人博物館所蔵、時習斎蔵書を手がかりに～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AE | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 江戸時代の寺子屋と、そこで用いられた初級テキストの往来物について、五個荘地域の寺子屋資料を事例にしながら、基礎的な知識を提供します。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材：パワーポイントの投影関連機材 東近江市近江商人博物館と連携（本学と同館との共催展示と関連づけ） | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.20 | タイトル | 五個荘発、寺子屋と往来物のおどろき ～東近江市近江商人博物館所蔵、時習斎蔵書を手がかりに～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AE | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 寺子屋で往来物をどのように用いたのか、五個荘地域の寺子屋資料を事例にしながら、教育史研究の最先端を説明します。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材：パワーポイントの投影関連機材 東近江市近江商人博物館と連携（本学と同館との共催展示と関連づけ） | | | | |

2023年度 びわ学ユースカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|------|---------|
| No.21 | タイトル | だれもが夢中になれる大人の科学実験 | 分野 | 形式 | 人数 | プロジェクター |
| | | | AF | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | 身近にある素材を使った科学実験を体験してもらう。誰でも安全に簡単にできる実験を紹介します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.22 | タイトル | 地域で考える子どもたちのスポーツ環境 ～運動部活動の地域移行について～ | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | その他 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 学校運動部活動の地域移行に向けて、地域で考えるべきことや地域にある既存のスポーツ関係団体が整えるべきことを整理し、自分たちの地域の形を検討する授業です。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.23 | タイトル | スポーツで地域活性化 ～誰もが健康で住みよい地域に必要な場所づくり～ | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | その他 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 地域に多世代、親子、様々な方々が集まれる場所を「スポーツ」や「健康」という切り口で一緒に考えていく授業。色々な地域で実践されている事例を用いて、参加型のワークを通して、自分の住む地域について必要なことを創造していきます。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.24 | タイトル | みんなでバスケットボール ～元プロバスケット選手がバスケットを指導する～ | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 指導者がいない、どんな練習をしたら良いかわからない、そんなバスケットボールチームや、選手を全力でサポートします。バスケットの魅力をつかち合いながら、楽しいひと時を過ごしましょう。内容や、レベルなどは相談に応じます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材・備品:バスケットボールリング、バスケットボール 体育館で実施します。 | | | | |
| No.25 | タイトル | 初心者を対象にした空手教室 | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | 健康のために体を動かしたい、また、空手の技術を学んでみたいという方を対象に、空手体験教室を開催します。空手を体験してみたいという意欲さえあれば、小学生からお年寄りまで、男女問わず、どなたでも参加できます。興味のある方、お待ちしております。 | | | | |
| | 備考 | 体育館、もしくは屋内の教室等で実施します。 | | | | |

2023年度 びわ学ユースカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.26 | タイトル | 運動が苦手な小学生の運動教室 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | B | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | 体育の授業で、ボール運動が苦手、鉄棒やマット運動が苦手という小学生を対象に体を動かすことの楽しさや、何かが出来るようになる楽しさを感じてもらうための運動教室です。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品:ソフトバレーボール、跳び箱、マット、鉄棒 体育館で実施します。 | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.27 | タイトル | スポーツ・パフォーマンスの向上に役立つストレッチ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | B | 体験型 | 10人程度 | ○ |
| | 授業内容 | スポーツでは準備体操の一環で行われるストレッチ(柔軟体操)。スポーツにおけるパフォーマンス向上とストレッチの関係を解説しながら、その理論と実践を学びます。 | | | | |
| | 備考 | 体育館など床に座って実施します。そのため、マット等が必要です。 | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.28 | タイトル | なぜスポーツ・運動が子どもの成長に欠かせないのか ～スポーツ科学の知見から～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | B | 講義型 | 20人 | ○ |
| | 授業内容 | コロナ禍における子どもたちの体力の低下や2極化だけでなく、スポーツの世界では早期専門化が心配されています。子どもたちを取り巻くスポーツや運動の状況だけでなく、成長にどのような影響を与えるのかを、子育ての視点から解説します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|------------|-------------|
| No.29 | タイトル | いきいき健康運動 ～軽運動で心と体をリフレッシュ～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | BG | 体験型 | 20～30 人 | × |
| | 授業内容 | ストレッチ、ウォーキング、チェアエクササイズ等の軽い運動を通して、ご自身の健康について考えてみませんか？ | | | | |
| | 備考 | 動ける場所で実施します。 | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|-------------------------------------|----|-----|----------|-------------|
| No.30 | タイトル | 運動とメンタルヘルス ～ストレスマネジメントにつなげるには？～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | BG | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | ストレスの対処法を知ってご自身のストレスマネジメントへ活かしましょう。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン | | | | |

2023年度 びわ学ユカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|-----|--------------------|----------|-------------|
| No.31 | タイトル | スポーツ科学の視点から考える健康づくり ～研究データからコツを読み解く～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | BG | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 運動は、こどもから高齢者まで、多くの人の健康づくりに貢献します。しかし、情報化の進んだ現代社会において、誤った情報が蔓延しています。この授業ではスポーツ科学的データをもとに運動・栄養・休養による効果的な健康づくりについて考えます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン、マイク | | | | |
| No.32 | タイトル | 大人のためのスポーツ生理学入門 ～測定体験から人体を学ぶ～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | BFG | 講義型 (一部体験 型) | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | スポーツ生理学では、運動中に体内で生じる目に見えない様々な現象(筋活動・血流・代謝等の変化)を可視化することが重要です。本授業ではスポーツ生理学領域における研究機器を利用して、目に見えない人体の諸機能について教養を深めます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン、マイク | | | | |
| No.33 | タイトル | コミュニケーションゲームを通じて対人援助のセンスを学ぶ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 体験型 | 16人 | × |
| | 授業内容 | 対人援助に必要な、みる、きく、伝えるについて簡単なゲームをしながら学んでいきます。 | | | | |
| | 備考 | 座ったり立ったりと体を動かすため、椅子で広めの円をつくることのできる環境を希望します。 使用備品:椅子 | | | | |
| No.34 | タイトル | コミュニケーションゲーム | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | 頭と体を動かしながら、人と関わるゲームを行います。 | | | | |
| | 備考 | 輪になって立ったり座ったり活動します。広めの部屋を希望します。 使用備品:椅子 | | | | |
| No.35 | タイトル | 知的障害や発達障害のある人への読書支援 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 講義型 | 30人 | ○ |
| | 授業内容 | 読むことが苦手な知的障害や発達障害の人が読書を楽しみ必要な情報を得るためのわかりやすい本やマルチメディアDAISY図書を紹介し、公共図書館が行っている知的障害者への障害者サービスの取り組みについてお話しします。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |

2023年度 びわ学ユカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-------------|----------|-------------|
| No.36 | タイトル | わかりやすい情報提供 ～リライトや読み聞かせの実習を通して～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 体験型・ 講義型 | 20人 | ○ |
| | 授業内容 | 知的障害や発達障害のある人たちにコロナ感染、災害、法律の情報など生活に必要なことをわかりやすく届けるためのリライトや読み聞かせの方法を実習を通して学んでいただきます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |
| No.37 | タイトル | 認知症ケア 若年性認知症の早期発見 太田正博さんの10年 ～そして人生は続く～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 若年性認知症の太田正博さんの10年間を振り返り、認知症を生きるという事がどのようなものなのかを、DVDを観ながら考えます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:スクリーン・DVDプレーヤー | | | | |
| No.38 | タイトル | 介護福祉士の専門性について ～介護福祉職のコミュニケーションとは～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 講義型・ その他 | 40人程度 | ○ |
| | 授業内容 | 介護福祉職に代表される福祉専門職がその専門性を磨くために必要なことや受容・共感と言ったコミュニケーション技術の基礎について学びます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |
| No.39 | タイトル | 介護過程におけるアセスメント ～介護過程の基本的な考え方やアセスメントのポイントについて～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | その他 | 40人程度 | ○ |
| | 授業内容 | 介護過程におけるアセスメントについて基本的なコミュニケーション技術や観察、記録について学びます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |
| No.40 | タイトル | 介護技術の基礎 ～負担の少ない移乗・移動方法～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 体験型 | 6人 | × |
| | 授業内容 | 介護者の腰に負担の少ない移乗・移動方法について学びます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:ベット、車いす | | | | |

2023年度 びわ学ユカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-------------|----------|-------------|
| No.41 | タイトル | 介護技術の基礎 ～ベッド上でのシーツ交換・寝衣交換～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 体験型 | 6人 | × |
| | 授業内容 | 利用者や介護者にとって、負担の少ない介助方法について学びます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材: ベット、寝衣類一式 びわこ学院大学の介護実習室において実施します。 | | | | |
| No.42 | タイトル | 障害のある人たちの3. 11 「命のことづけ」～死亡率2倍、障害のある人たちの3. 11～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | CH | 講義型・ その他 | 40人程度 | ○ |
| | 授業内容 | DVD「命のことづけ」を鑑賞し、東日本大震災で被災した、障害がある人の尊厳や人権を考えます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材: スクリーン・DVDプレーヤー | | | | |
| No.43 | タイトル | 体を使って楽しく歌おう！！ ～腹式呼吸って何？～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | D | 体験型 | 30人 | ○ |
| | 授業内容 | 発生の仕組みをDVDで学んだ後、実際の体操をしながら声を出し、全員で1曲仕上げます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材: DVDプレイヤー、スクリーン、ピアノまたはキーボード 床に寝ても大丈夫な服装でお願いします。 | | | | |
| No.44 | タイトル | もっと上手に歌ってみたい ～歌っていいんだよ、もっと発散しよう！！～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | D | 体験型 | 30人 | ○ |
| | 授業内容 | 普段合唱をされていて、お困りのことをお聞きし、より良い表現に近づくお手伝いをいたします。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材: ピアノ 動ける服装。指導してほしい楽譜をあらかじめお送りください。 | | | | |
| No.45 | タイトル | ここにしか咲かない花 ～水彩絵の具や色紙を使って不思議な花を咲かせましょう～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | D | 体験型 | 15人 | × |
| | 授業内容 | ステンシル、紙工作などの技法で「ここにしか咲かない」不思議な花をつくります。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品: 筆洗バケツ（水彩絵の具、画用紙、ハサミなどは大学から持ち込みます。） 造形室など活動しやすい場所を希望します。 | | | | |

2023年度 びわ学ユークレージ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|---------------|-------------|
| No.46 | タイトル | ＜紙工作＞ 楽しい螺旋(らせん)ロード | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | D | 体験型 | 15人 | × |
| | 授業内容 | カードを開くとグルグルとうねる螺旋ロードを考えます。飛び出すカードっぽく、平面から立体を往還する紙の素材としての面白さを体感しましょう。簡単そうで案外頭の体操になります。 | | | | |
| | 備考 | 造形室など活動しやすい場所を希望します。(はさみ、デザインナイフ、のりなど大学から持ち込みます。) | | | | |
| No.47 | タイトル | 和歌でつながる ～本居宣長を事例として～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | E | 講義型 | 5人以上 50人まで | ○ |
| | 授業内容 | 江戸中期、三重松坂で医者としての仕事をする一方で30余年にわたり『古事記』を研究した本居宣長の和歌とのかかわりについてお話します。彼は18歳から和歌を詠み始め、生涯にわたり約1万首を詠みました。また松坂で周辺の人々と歌会を頻繁に開いていました。彼がなぜそれほどまでに和歌にこだわったかを中心に、人間関係が希薄になっている現代において、地域で人と繋がる意味を考えたいと思います。(60分程度) | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン | | | | |
| No.48 | タイトル | 日本の都城の歴史 ～近江大津宮と紫香楽宮の再評価～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | E | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 邪馬台国をヤマト王権の祖と見た場合、その後の藤原京に始まる日本の都城の歴史を、どのように評価できるか。特に近江大津宮と紫香楽宮を都城と評価できるのかについて、都市史の観点から説明します。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:マイク(PCは持参します。) 大津京の存在を主張する方には不向きな内容です。 | | | | |
| No.49 | タイトル | 近江の街道宿場と町家の特徴 ～京町家を上回る防火性能の形成～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | EH | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 江戸時代の街道沿いに形成された宿場において、建築された町家の特徴を紹介します。いわゆる京町家と異なる点に注目し、京町家を上回る防火性能をもつ姿が生まれた社会背景を説明することで、滋賀県に関する新しい知見を提供します。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:マイク(PCは持参します。) 彦根・五箇荘・近江八幡の町なみ見学とセットでも可能です。 | | | | |
| No.50 | タイトル | 簡単なお知らせ文をパソコンで作ろう! | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | F | 体験型 | 3～8人 | ○ |
| | 授業内容 | 日本語ワープロ検定試験の”文書作成”の体裁を用いて、簡単なお知らせ文などをWordで作ります。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン 簡単なローマ字入力ができることが望ましいです。 | | | | |

2023年度 びわ学ユカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.51 | タイトル | 「健康至上主義社会」のなかで病や障害と共に在ること | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 「健康」は人生の第一の目標なのでしょうか。ゼロコロナからウイズコロナへと舵を切った社会の変化を、障害学の視点を通して捉え返してみませんか。 | | | | |
| | 備考 | スクリーン | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.52 | タイトル | 簡単ストレッチと自体重のトレーニング ～運動不足解消でストレス解消！～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 一人で行える簡単なストレッチと、トレーニング方法を学びます。健康づくりのための運動を学び、運動不足とストレスを解消しましょう。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品：ヨガマット等 運動が出来るスペース及びフロア(体育館・ヨガマット等)を希望します。 | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-------------|--------------|-------------|
| No.53 | タイトル | 骨盤底筋体操で体の内から美人を目指しましょう！ ～骨盤底筋強化と尿もれ予防～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 体験型・ 講義型 | 10～15人 女性 | × |
| | 授業内容 | 女性の4人に1人が尿もれを経験しています。体の奥深くにある骨盤底筋を鍛えることで尿もれの改善や予防を図ることが可能です。ご自身の骨盤底筋の強度を測定し、強化に向けた体操を一緒に行う講座です。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品：コンセント口(測定機器を使用) | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.54 | タイトル | プレコンセプションケアって何だろう？ ～カラダと心の健康とライフプランニングについて～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | プレコンセプションケア(包括的性教育)のお話を各世代に応じ、さまざまな視点からニーズに応じてアレンジし授業をさせていただきます。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品：コンセントのある部屋 | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|-------------------------------------|----|-----|----------|-------------|
| No.55 | タイトル | 高齢者に多い病気とその対策 ～まだまだこれから！～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 講義型 | 相談 | ○ |
| | 授業内容 | 高齢者に多くみられる病気と対策、くすりへの注意などをお話します。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材：PC、スクリーン、拡声器 使用備品：配布紙資料を準備します。 | | | | |

2023年度 びわ学ユカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.56 | タイトル | メンタル不調への対応 ～こころの病気への気づきと対応～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | メンタル不調への気づきと対応について一緒に考えます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン、拡声器 使用備品:配布紙資料を準備します。 | | | | |
| No.57 | タイトル | 地域における自然災害への取り組み ～いまの備えは、それで十分ですか?～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | H | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 過去の自然災害を例に、いま地域のなかでどのような防災上の「備え」が必要なのか、について話をします。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.58 | タイトル | 国際比較から考える教育政策 ～初等中等教育を中心とした近年の動向～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | I | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | この授業では、変化の激しい最近の教育政策を簡単に解説したうえで、国際比較の調査結果をもとに日本の教育を概観し、今後の日本の教育のあり方を考えていきます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン(PC持参します。) | | | | |
| No.59 | タイトル | クレームや苦情への対応 ～カスタマー・ハラスメントを含め～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | I | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | カスタマー・ハラスメントを含め、ストレスが多い昨今、いかにクレームや苦情を少なくし、また発生した場合であってもどう対処すべきか、について話をします。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.60 | タイトル | 絵本の世界を楽しもう ～絵本から見える子どもの世界～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | I | 体験型 | 20人 | ○ |
| | 授業内容 | 様々な絵本が出版されていますが、絵本は子どものためだけでなく大人も十分楽しめます。本時は絵本からみえる「子どもの心・成長」を考察していきます。また、参加者が絵本を持ち寄ることで、楽しみ方の幅を広げます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:書画カメラ | | | | |

2023年度 びわ学ユースカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.61 | タイトル | 絵本から読み解く異文化理解 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | I | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 文化、価値、信条の異なる人々が社会で共に暮らすためにはどのような視点が必要なのか。この授業では絵本作家ショーン・タンの作品に着目して、独特な世界観に見る他者理解の視点を考えます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:スクリーン、DVDプレーヤー (PC持参します。) | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.62 | タイトル | グローバル化の中の異文化理解 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | I | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 文化相対主義の視点で事例を取り上げながら異文化理解の重要性について考えます。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.63 | タイトル | 近江鉄道の活用による地域活性化 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | I | 体験型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 近江鉄道の現状を踏まえた上で、学生と市民の活動の事例を紹介し、市民主体の地域活性化と「鉄学連携」の可能性について探ります。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.64 | タイトル | 近江における「聖徳太子」信仰 ～『聖徳太子伝暦』を中心に～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | I | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 『万葉集』中にもよく歌の舞台となった近江国。聖徳太子にちなむ寺院や神社も少なくありません。それらの記事のベースにあるのが平安時代成立の『聖徳太子伝暦』です。この本からさまざまな太子の奇瑞を追っていきましょう。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.65 | タイトル | 教職入門の入門 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | I | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 学校の先生(教職)とはどんな仕事なのか、学校の先生になるためには何が必要なのかをみなさんと一緒に考えます。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

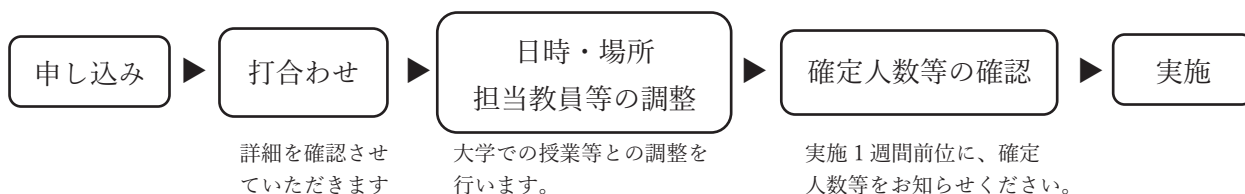
地域連携出前授業（一般対象） 開催要項

地域・産学連携研究支援委員会

●授業の専門分野

| | | |
|--------------|---------|-----------|
| A 教育・子育て | B スポーツ | C 人権・福祉 |
| D 芸術・音楽 | E 文化・歴史 | F 情報技術・科学 |
| G 健康・ライフスタイル | H 環境・防災 | I その他 |

●申し込み～実施までの流れ



●申し込み方法

別紙「申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAX あるいは E-mail にて「びわこ学院大学地域・産学連携研究支援課」までお申し込みください。

| 出前授業申込書 | | | |
|--|-----------|------------------------------|--------|
| 申込日: 年 月 日 | | | |
| 団体名 | | | |
| 部署名 | | | |
| ご担当者 | | | |
| ご住所 | 〒 | | |
| TEL | | | |
| FAX | | | |
| E-mail | | | |
| 希望授業名 | 第1希望 | 授業No. | 授業タイトル |
| | 第2希望 | 授業No. | 授業タイトル |
| 希望開催日時 | 第1希望 | 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間) | |
| | 第2希望 | 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間) | |
| 受講者数 | 予定 ・ 確定 名 | | |
| 実施場所 | | | |
| ご連絡欄 | | | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>お問い合わせ お申し込み先</div> <div> びわこ学院大学 びわこ学院大学 環境学部 地域・産学連携研究支援課 </div> <div> ☎ 0748-35-0005(直通) ☎ 0748-23-7202 ☎ 0748-22-3388(代表) ✉ ex-link@newton.ac.jp 〒527-8533 滋賀県東近江市布施町 29 </div> </div> | | | |

※連絡先

E-mail もお願いします。

※希望授業

できるだけ、第2 希望までご記入ください。

※希望開催日

できるだけ、第2 希望までご記入ください。

※受講者数

申し込み時点でのおよその人数で結構です。

※連絡欄

ご意見・ご要望等をご記入ください。

●お問い合わせ先

びわこ学院大学 地域・産学連携研究支援課

【TEL】0748-35-0005（直通） 0748-22-3388（大学代表）

【FAX】0748-22-8610 【E-mail】ex-link@newton.ac.jp

出前授業申込書

申 达 日 年 月 日

| | |
|-------------|---|
| 団 体 名 | |
| 部 署 名 | |
| ご担当者 | |
| ご 住 所 | 〒 |
| T E L | |
| F A X | |
| E - m a i l | |

| | | | |
|-----------|--|---|--------|
| 希 望 授 業 名 | 第 1 希望 | 授業 No. | 授業タイトル |
| | | | |
| | 第 2 希望 | 授業 No. | 授業タイトル |
| | | | |
| 希望開催日時 | 第 1 希望 | 年 月 日 () | |
| | | 時 分 ～ 時 分 (分間) | |
| | 第 2 希望 | 年 月 日 () | |
| | | 時 分 ～ 時 分 (分間) | |
| 受 講 者 数 | 予定 ・ 確定 名 | | |
| 実 施 場 所 | | | |

ご連絡欄

.....

.....

.....

.....

**お問い合わせ
お申し込み先**

びわこ学院大学
びわこ学院大学短期大学部
地域・産学連携研究支援課

☎ 0748-35-0005(直通) ☎ 0748-23-7202
☎ 0748-22-3388(代表) ✉ ex-link@newton.ac.jp
〒527-8533 滋賀県東近江市布施町 29